

長崎合同平和探究学習

長崎東平和式典参加

8月7日から8月9日の3日間、長崎を訪れ、合同平和探究学習を行いました。そこで活動報告と感想をご紹介します。私たちは、8日に長崎東高校の平和式典に参加させ



長崎東高校平和式典で発表

ていただきました。長崎県の被爆体験談を伺い、長崎東高校の探究活動の発表を聞き、共同平和宣言を読み、舟入高校の平和への取り組みについて発表をしました。その際、ある先生が来てくださり「広島から生徒が来てくれるからこそ、皆が注目して意味がある」と言ってくれました。その言葉がとても心に残っています。午後からは、長崎東高校の生徒さんに平和公園内の像などについて説明していただきながら、長崎平和公園と原爆資料館を見学しました。その後、生徒同士で対話の時間を持ち、感じたことや平和についての思いを共有しました。

対話の中で、「平和な世界をつくるために何ができるか」という問いに対し、「1人が周りの大切な人を笑顔にすると、その人たちもまた周りの人を幸せに、笑顔にする。そうして幸せと笑顔が広がっていけば、世界中が幸せと笑顔で満ち溢れるようになる」「核廃絶が大切。決定権は為政者にあるが、その為政者を選ぶのは国民。草の根から平和の思いを広げれば、いつか実現できると信じている。だからこそ、平和へのメッセージを発信し続けている。」などそれぞれ意見があり、自分なりに行動していました。



平和記念像の前で黙祷

最終日は長崎市内散策

長崎東高校の生徒に案内してもらい、昨年度開業した「長崎スタジアムシティ」を訪れました。建物の中では「伝えるアート展」が開催されており、長崎県の創成館高校の生徒が平和への思いを込めて制作した、約1万羽の折り鶴によるアート作品が展示されていました。建物の雰囲気は昨年度開業したピースウイング広島と似ているなど感じました。作品の裏面にはメッセージを書き込めるスペースがあり、私たちも一人ひとり、平和への願いを込めてメッセージを残しました。「とも良き世を創る」「Be Yourself to Live for Others (おのれに徹して人のために生きよう)」

「生きてることが幸せ。当たり前を大切に」「自分たちの未来は自分たちで創る」「Keep striving for a better future!」今回の合同平和探究を通して、人とのつながりの大切さを改めて実感しました。長崎東の皆さんと対話する中で、相手の意見に耳を傾けることで視野が広がり、自分の価値観も豊かになったと感じます。また、自分の意見を発信し、それに対してフィードバックをいただけることは、とてもありがたく貴重な経験でした。未来について語り合う時間は、とても穏やかで幸せな空間でした。これからもこのご縁とつながりを大切にし、前向きに取り組んでいきたいです。



長崎スタジアムシティで平和へのメッセージ